

先行技術文献を見つけるための 特許調査の実施プロセスとポイント

※職場や自宅のノートPCでオンライン会議アプリZoomを使って受講できます。受講方法は申込後にご連絡いたします。

- ◆日時:2021年6月17日(木) 10:30~16:30
- ◆会場:あなたの職場や自宅のPCで受講可(WindowsPC推奨)
- ◆聴講料:1名につき55,000円(税込、資料付)

⇒1名につき36,300円(税込、資料付き)
2名同時申し込みの場合、1名につき22,000円(税込)

講師からの紹介割引について

本パンフレットは講師用のパンフレットです。このパンフレットでセミナーをお申込みいただくと、講師からのご紹介により左記のとおり受講料が割引になります。なお他の割引との併用はできません。

●講師:(株)IP調査塾 代表 特許情報活用コンサルタント 松尾 健司 氏

《講座の趣旨》

特許出願戦略において、「量から質への転換」が求められる中で、先行技術調査が重要視されています。調査に時間をかけてしまつては、先願の地位を逃してしまひますし、的外れな調査では的確な先行技術を把握できません。つまり、特許出願前の先行技術調査には迅速性と正確性が要求されます。

本セミナーでは、効率的かつ正確に先行技術文献を見つけるための「検索式立案テクニック」を解説するとともに、実際の拒絶理由に用いられた引例をヒットさせるためのコツを学ぶための「検索事例研究」の活動により得られた知見をご紹介します。

講義の中では、J-PlatPatに接続しながらのデモンストレーションや操作体験実習を交えて説明します。

《プログラム》

1. 特許調査の実施プロセスとポイント

- (1) 特許調査を漁業に例えると
- (2) 情報検索の考え方
- (3) 特許調査の種類と目的
- (4) 特許調査の実施プロセス
- (5) 調査主題の把握からポイントの抽出まで
- (6) 予備検索(プレサーチ)
- (7) 検索式の策定
★デモ&体験実習1★「J-PlatPatで多面的検索と検索式の統合」
- (8) モレとノイズを少なくする検索テクニック
(類義語展開、近傍検索、NOT検索)
- (9) 本検索とスクリーニング
- (10) 関連公報の精査
- (11) 審査経過の確認
★デモ&体験実習2★「審査経過から引用文献を確認する」
- (12) 報告書の作成

2. 検索タームとしての特許分類

- (1) 国際特許分類(IPC)
- (2) FI(ファイル・インデックス)

- (3) Fターム(File Forming Term)
- (4) IPC・FI・Fタームの関係
- (5) J-PlatPatの特許・実用新案分類照会(PMGS)
★デモ&体験実習3★「PMGSで分類コードの内容を参照する」

3. 検索事例の紹介と事例研究から得られた学び

- (1) 検索式作成失敗事例1~4
- (2) 拒絶理由に学ぶ特許検索事例研究の活動紹介
・活動の進め方
・発明の認定と検索式の立案
・検索式持ち寄り報告会
・題材公報と引用文献との対比
・検索報告書からの学び
・推奨検索式と学びのポイント
- (3) 事例研究から学んだ先行技術調査のかんどころ
・類義語キーワード展開の難しさ
・特許分類表の見方、探し方のコツ
・全文検索とFターム検索の活用を心がける
・実施例を狙った検索式を立案する

【質疑応答】

(講師紹介割引)『先行技術特許調査』WEBセミナー申込書

FAX:03-5857-4812

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

●セミナーの受講申込みについて●

左の申込みフォームに必要事項をご明記の上、FAXしてください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>